

# ふれあい情報 速報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)  
■発行人 羽山 治美 (編集人) 林 道寛  
■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11  
Tel: 03-5295-0507 Fax: 03-5295-0541

<e-mail> taisyokusharengo@sv.rengo-net.or.jp  
<ホームページ> <http://trjtuc-rengo.jp>

2014年 4月26日(土) **第178号**

(速報の記事・写真の転載は自由。データが必要な場合は送付可)

## 連合と退職者連合47人参加、現退一致で取り組む

4月25日(金)午前9時10分から衆議院第16委員室で医療・介護保険制度の改訂を審議する厚生労働委員会が開かれ、審議の中で民主党の大西健介衆議院議員、長妻昭衆議院議員、山井和則衆議院議員、柚木道義衆議院議員の4委員が、介護保険給付から要支援サービスを切り離して自治体移管を強行しようとする厚労省・与党を厳しく追及しました。この日の傍聴行動は、現退連帯として取り組まれ連合から22人(UAゼンセン・日本介護クラフトユニオン含む)、退職者連合から25人が参加し、傍聴席を埋めつくしました。

## 次々と追及の矢を放つ民主党委員

### 民主党、退職者連合、連合代表 そろって決意表明

傍聴に入る前、衆議院議員面会所に集まった連合や退職者連合の参加者を前に山井衆議院議員があいさつ。「消費税をアップしたのになぜ社会保障費をカットするのか。介護を使わせない法律にしようとしている。安倍首相の暴走を止めたい。これは大きな闘いになる。来年の自治体選挙、次の参議院議員選挙での闘いにつなげたい。そのためには民主党ががんばるしかない」と決意を述べました。

続いて退職者連合の阿部保吉会長が「この国会で法律の修正を勝ち取る決意で傍聴行動を取り組みたい」と意義を強調。また現職を代表して連合の花井圭子総合政策局長は「介護保険制度を悪い方向に大きく姿を変えようとしている。退職者連合のみなさんと共に傍聴行動を続けていきたい」と連帯のあいさつをしました。

委員会質疑では先頭バッターに立った大西委員が、独自に行ったアンケ

ート調査結果による現場の意見を紹介し、多くの関係者が介護保険制度改訂に不安や疑問を抱いていることを明らかにしました。

二番手には長妻委員が立ち、厚労省調べで65歳以上の高齢者のうち、440万人いるとされている認知症患者と介護について触れ、「初期の認知症予防こそ重要だ。この法案は認知症予防の軽視になり、逆行している。むしろ要支援の予防給付は強化すべき」と提言しました。

さらに3番手の山井委員は、「介護保険からの要支援カットは大問題だ。

安心してサービス受けられなくなる  
改悪反対で民主党四委員が政府を追及

介護保険制度めぐり審議

衆議院厚生労働委員会・傍聴行動報告

衆議院議面で傍聴参加者を前に決意を述べる民主党の山井議員(中央)。右は阿部会長、左は菅井次長と羽山事務局長。円内は花井氏。



要支援対象者100万人を見捨てるのか。これでは介護保険が権利ではなくなってしまう。反対だ。田村厚生労働大臣は口ではサービスを維持するといっているが、な

らばなぜ法改正する必要があるのか」と厳しくせまりました。

最後に質問に立った柚木委員も「要支援100万人がサービスを受けられなくなる。要支援切りの見

切り発車だ。これでは要支援難民、介護離職が増大する。こんなことが絶対あってはならない」と語気を強めて政府を糾しました。

### <委員会で質問に立った民主党の衆議院議員の方々>



大西健介議員



長妻昭議員



山井和則議員



柚木道義議員

## 第85回メーデー中央大会

# 晴れわたった青空の下、4万人が参加

## 退職者連合からも420人

第85回メーデー中央大会が4月26日土曜日、晴れわたった青空の下、東京・代々木公園B地区、音楽堂、サーカス場などを会場には組合員4万人が参加して開かれました。退職者連合からも中央退職者組織21団体420人が参加しました。また退職者連合を代表して阿部保吉会長が、中央式典の来賓としてステージに登壇しました。

### 安倍首相が祝辞のべる

さわやかな天気にも恵まれ、メーデー会場が子ども連れの組合員などであふれる中、中央式典では主催者を代表して古賀伸明メーデー中央実行委員長(連合会長)があいさつ。来賓では、はじめに政府を代表して安倍晋三首相、労働行政代表として田村憲久厚生労働大臣が登壇して祝辞を述べました。後援団体からは前田信弘東京都副知事があいさつしました。政党では、共産党を除く与野党9党の代表が勢ぞろいし、それぞれあいさつしました。さらにNGO-NPO連帯では、DPI日本会議の尾上浩二事務局長があいさつ。連合かごしまユニオンに参加するひまわりユニオンの福



△会場は参加者であふれた。(4月26日、代々木公園メーデー会場)

田瑞代執行委員長が非正規労働者の置かれている厳しい状況を訴えました。自治労福島県本部特別執行委員の八巻由美さんが、東日本大震災の被災からのアピールを読みあげました。

大会は最後に神津里季生実行委員会事務局長が提案した「志を同じくするすべての仲間との団結と連帯で働くことを軸とする安心社会を実現しよう」とのメーデー宣言と労働者保護ルールの改悪に断固反対するメーデー特別決議を満場一致で採択しました。